

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2025年夏季重点要求書の提出等について

交渉日時 令和7年6月2日（月） 15時00分～17時15分

交渉場所 職員会館 2階大会議室

交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 柏木市長公室副部長 岡野人事課長
野口人事課副課長 佐藤人事研修係長 加島給与係長

組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計10人

概 要	2025年夏季重点要求書の受理等を行った
組合の主張	① 所属によっては会計年度任用職員を募集しても応募が少ないという状況は、若者にとって魅力的な内容に映っていないということ。人材難の時代において、今まさに何か手を打たないと、今後正職員も満足に集まらなくなるのでは。次回の交渉はそれを踏まえた回答を期待している。 ② 欠員職場では時間外勤務が増えている状況が見られる。早期に欠員を解消してほしいが、一方で新規採用職員を配置すると同時に、今配置している欠員代替の会計年度任用職員を減員すると、時間外勤務の問題は解決しにくい。当面の間、会計年度任用職員も継続配置すべきではないか。 ③ 休暇を取得したくても取得できない、取得しにくいという状況の職場がある。今後、育児休業の取得を希望する男性職員は増加していく。安心して休暇や育休等を取得できる職場体制を整える必要がある。 ④ 熱中症対策について、義務的なことを周知するだけでなく、各職場の事情に応じた対策が必要であり、職場ごとに議論させる必要がある。
当局の主張	① 正職員の雇用をしっかりと確保する方法を検討しつつ、会計年度任用職員の確保についても並行して考えていきたい。 ② まずは早期に欠員解消できるように取り組む。一方で、欠員解消のために配置する新規採用職員が業務に不慣れであることを理由に、欠員代替の会計年度任用職員を継続配置することは難しい。時間外勤務が増加する要因は様々あるので、個別に状況をとらえて対応したい。 ③ 他市の事例等も参考にしながら、どうあるべきかを検討していく。 ④ 暑さ対策はこれまでの間、労働安全衛生委員会及び小委員会で議論し、様々な対策を講じてきており、効果もあったと考えている。今回は法改正による義務的な部分について周知をしているものであり、暑さ対策に取り組むための土壌はこれまでから一定できていると考えている。